

## 検討対象物質の概要

物質名	主な用途	生産・輸入量	現在の管理濃度	産衛学会、ACGIH	その他
ベリリウム及びその化合物	<p>宇宙・エレクトロニクス・機械工業のベリリウム-銅その他の合金類として。宇宙・兵器・原子力工業で遊離金属として。エレクトロニクス及びマイクロエレクトロニクスでベリリウム酸化物として。</p> <p>(国際化学物質安全性計画 環境保健クライテリア106 (1990年発行) (国立医薬品食品衛生研究所安全情報部による抄訳) )</p>	<p>ベリリウム鉱石の年間世界生産量：約10,000トン (1980から1984年) ……ベリリウムの約400トンに相当。</p> <p>(国際化学物質安全性計画 環境保健クライテリア106 (1990年発行) (国立医薬品食品衛生研究所安全情報部による抄訳) )</p>	<p>0.002 mg/m<sup>3</sup></p>	<p>○日本産業衛生学会： Beとして0.002mg/m<sup>3</sup> (1963年)</p> <p>○ACGIH： Beとして0.00005mg/m<sup>3</sup> (インハラブル粒子として) (2009年)</p>	<p>IARC：1 ACGIH：A1</p>
オルトーフタロジニトリル	<p>青色染料の中間体 (産衛学会、許容濃度の暫定値の提案理由 (2009年度) )</p>	<p>データなし</p>	<p>未設定</p>	<p>○日本産業衛生学会： 0.01mg/m<sup>3</sup> (2009年)</p>	